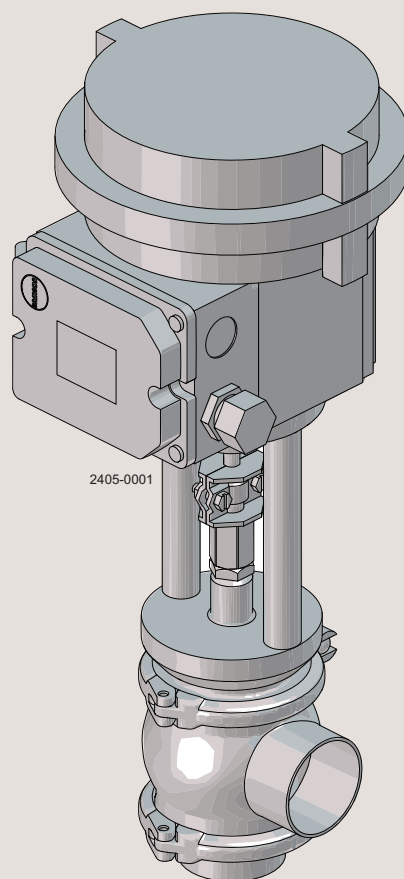




## 取扱説明書

Unique RV-Pー空気圧式調整用バルブ



ESE02801-JA2 2016-10

オリジナルの使用説明書の翻訳



当社ウェブサイトでご覧いただけます。

www.alfalaval.jpへアクセスしてください。

1. EC適合宣言書 .....	4
2. 安全 .....	5
2.1. 重要事項 .....	5
2.2. 警告を表すマーク .....	5
2.3. 安全に関する注意事項 .....	6
3. 据付け .....	7
3.1. 開梱/搬送 .....	7
3.2. 通常の据付け .....	8
3.3. 溶接 .....	10
3.4. リサイクル情報 .....	13
4. 動作概要 .....	14
4.1. 動作概要 .....	14
4.2. トラブルシューティング .....	16
4.3. 推奨する洗浄方法 .....	16
5. メンテナンス .....	18
5.1. 通常のメンテナンス .....	18
5.2. バルブの分解 .....	20
5.3. プラグシールの交換 .....	22
5.4. バルブアセンブリ .....	22
6. テクニカルデータ .....	23
6.1. テクニカルデータ .....	23
7. 部品リストとサービスキット .....	25
7.1. 標準モデル .....	25
7.2. アセプティック・モデル .....	28

# 1 EC適合宣言書

基準の改訂の発表 2016-06-01

指定会社

Alfa Laval Kolding A/S  
会社名

Albuen 31, DK-6000 Kolding, Denmark  
住所

+45 79 32 22 00  
電話番号

上記会社はここに次のとおり宣言します。

バルブ  
名称

唯一のRV-P、唯一のRV-P-A  
タイプ

が、以下の指令に修正を含めて準拠していることを、ここに宣言いたします。

- 機械類の指令 2006/42/EC

当該技術ファイルを編集する権限を与えられているのは、本ドキュメントの署名者です。

グローバル製品品質マネージャー  
ポンプ、バルブ、継手とタンク設備  
役職

Lars Kruse Andersen  
名称



Kolding  
場所

2016-10-26  
日付

署名



本文中では、危険な行為などの重要な情報を、特に強調して記してあります。  
警告内容は、特別なマークで強調しています。

---

### 2.1 重要事項

---

バルブをご使用前に**必ず**この取扱説明書をお読みください。

#### 警告

人体への被害を防ぐために、遵守すべき事柄を表しています。

#### 注意

バルブの損傷を防ぐために従うべき事柄を表しています。

#### 注意

手順を簡素化あるいは明瞭化するための重要な情報を表しています。

---

### 2.2 警告を表すマーク

---

一般的な警告：



腐食への警告：



## 2 安全

---

このページには、本文中で使われている全ての警告を表すマークをまとめてあります。  
人体への被害、あるいはバルブの損傷を防ぐために、本警告事項には特に注意してください。

---

### 2.3 安全に関する注意事項

---

#### 据付け:

**必ず**、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。  
バルブ使用後は、**必ず** 圧縮エアを抜いてください。  
アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は**絶対に**可動部品に手を触れないでください。  
熱い流体を流している最中や殺菌中には、バルブや配管には**決して**手を触れないでください。  
バルブを取外す時は、配管/バルブ共に加圧されていないことを**必ず**確認してください。  
バルブが熱くなっているときには、**絶対に**取外さないでください。



#### 操作:

バルブを取外す時は、配管/バルブ共に加圧されていないことを**必ず**確認してください。  
バルブが熱くなっているときには、**絶対に**取外さないでください。  
**必ず**、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。  
バルブ使用後は、**必ず** 圧縮エアを抜いてください。  
熱い流体を流している最中や殺菌中には、バルブや配管には**決して**手を触れないでください。  
アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は**絶対に**可動部品に手を触れないでください。  
洗浄後はきれいな水で**必ず**よく水洗いしてください。



酸やアルカリの取扱いには十分な注意を怠らないようにしてください。



#### メンテナンス:

**必ず**、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。  
バルブ使用後は、**必ず** 圧縮エアを抜いてください。  
バルブが熱くなっているときには、**絶対に**作業を行わないでください。  
バルブおよび配管が加圧されている場合は、**絶対に**作業を行わないでください。  
アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は**絶対に**バルブ内に指を入れないでください。  
アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は**絶対に**可動部品に手を触れないでください。  
**必ず**、アルファ・ラバル Laval 純正予備部品を使用してください。アルファ製品の保証は Laval アルファの純正スペア部品の使用 Laval に付随しています。



#### 輸送:

圧縮エアが放出されていることを**必ず**確認してください。  
バルブを取り外す前に、**必ず**全ての接続が切断されていることを確認してください。  
輸送前には、**必ず**液体をバルブから排出してください。

明示されている場合は**必ず**、指定の吊り下げポイントを使用してください。  
輸送時には**必ず**、バルブが適切に固定されていることを確認し、専用パッケージ材が利用可能な場合は**必ず**使用してください。

---

本製品には取扱説明書が付属しています。本文をよくお読みください。  
図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。  
継手付きの場合、バルブは組み立てて納入されます。

### 3.1 開梱/搬送

#### ステップ 1

##### 注意

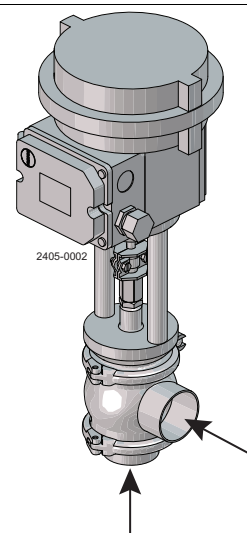
アルファ・ラバルでは、不適切な開梱による不具合には責任を負いかねます。

内容を確認して下さい:

1. バルブ完成品
2. パッキングリス
3. 取扱説明書

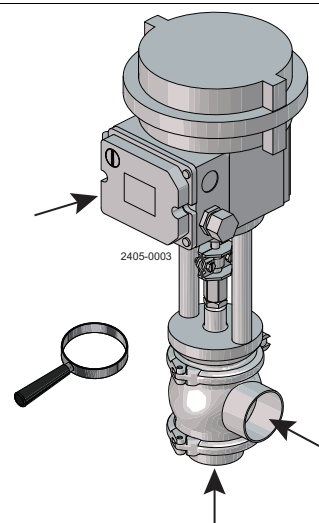
#### ステップ 2

バルブやバルブ部品から梱包材を取り除いてください。



#### ステップ 3

輸送による破損が無い視認検査してください。

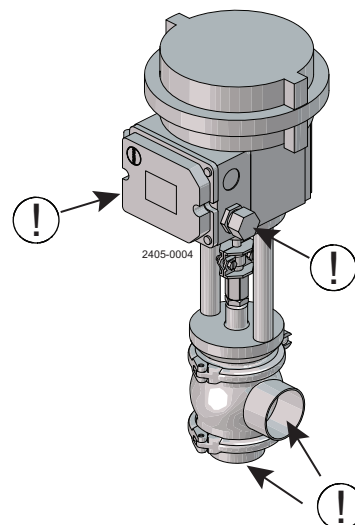


### 3 据付け

本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
このバルブの標準仕様は溶接エンドですが、継手付きの仕様にも対応します。

#### ステップ 4

エア接続、電気配線、バルブ・ポートが破損しないようにしてください。



#### 3.2 通常の据付け

##### ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。  
章を参照してください6 テクニカルデータ。

**注意**  
アルファ・ラバル Lavalでは、不適切な据付けによる不具合には責任を負いかねます。



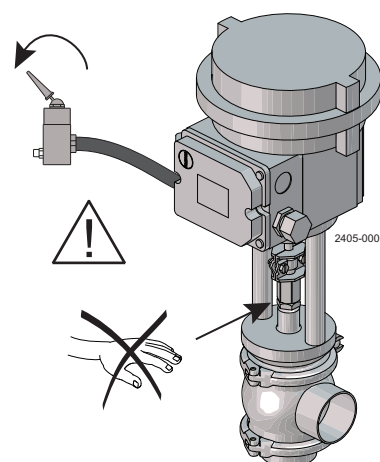
バルブ使用後は、必ず圧縮エアを抜いてください。

##### ステップ 2



アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は絶対に可動部に手を触れないでください。

可動部



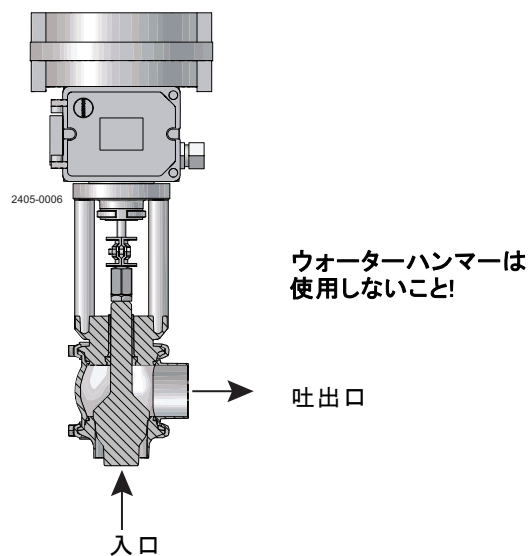


本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
このバルブの標準仕様は溶接エンドですが、継手付きの仕様にも対応します。

#### ステップ 3

ウォーターハンマーを防止するために、バルブが閉じるのと反対方向に液が流れるように据付けてください。

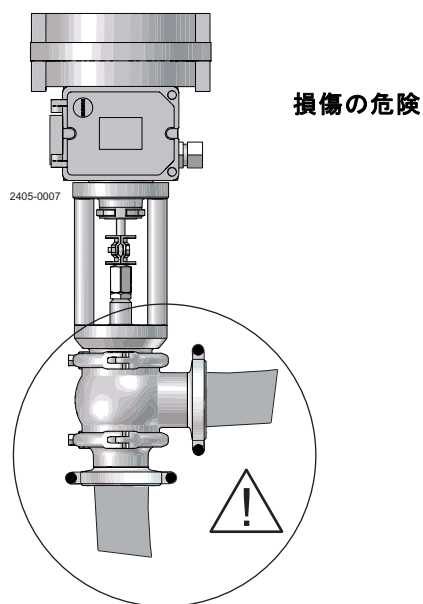
アクチュエータ内で決して衝撃が発生しないようにする必要があります。



#### ステップ 4

バルブに外力を加えないで下さい。  
次のことに注意してください。

- 振動
- 配管の熱膨張
- 過度の溶接
- 配管の過負荷



### 3 据付け

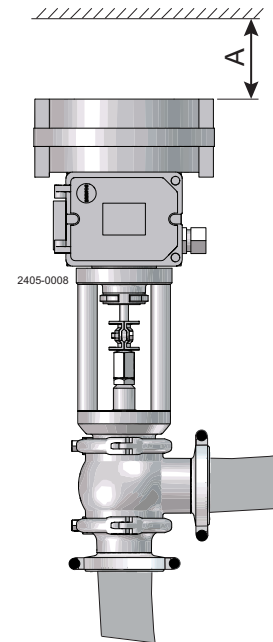
本文をよくお読みください。  
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。  
溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

#### 3.3 溶接

##### ステップ 1

システムがバルブから分解されている場合には、つねにバルブ本体をシステム内に溶接してください。  
アクチュエータを取り外せるように、最短距離(A)を維持してください。

.....	A = mm
38 mm/DN40	100
51 mm/DN50	105
63.5 mm/DN65	130
76 mm/DN80	145
101.6 mm/DN100	180



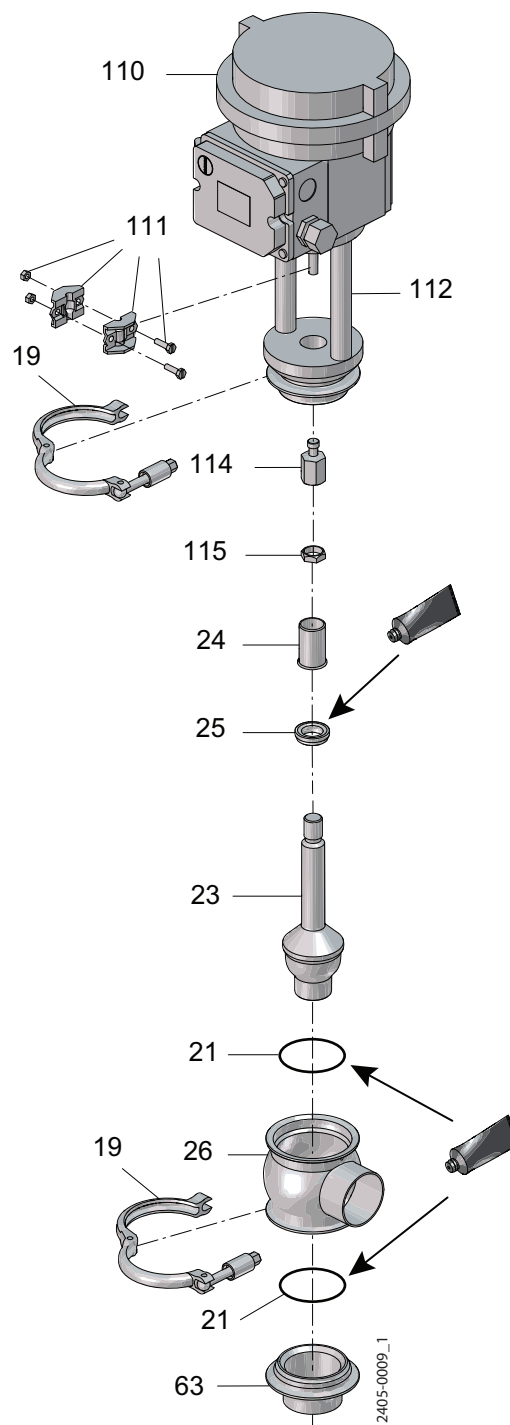
本文をよくお読みください。  
 符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。  
 溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

## ステップ 2

22 ページの手順に従ってバルブを組み立ててください。  
 警告(人)には特に注意してください。

### 標準モデル

1. O-リング (21) とリップ・シール (25) に Klüber Paraliq GTE を塗布します 703。
2. シート (63) と O-リング (21) をバルブ本体 (26) に取り付けます。
3. 下部クランプ (19) を取り付け、締付けてください。
4. O-リング (21) とプラグ (23) をバルブ本体 (26) に取り付けます。
5. ブッシュ (24) とリップシール (25) をボンネット (112) に取り付けます。
6. アクチュエーター (110) とボンネット (112) をバルブパーツと一緒にバルブ本体 (26) に取り付けます。
7. 上部クランプ (19) を取り付け、締付けてください。
8. バルブプラグ・アジャスター (114) とナット (115) をプラグ (23) に取り付け、締付けてください。
9. クランプ継手 (111) を取り付け、締付けてください。



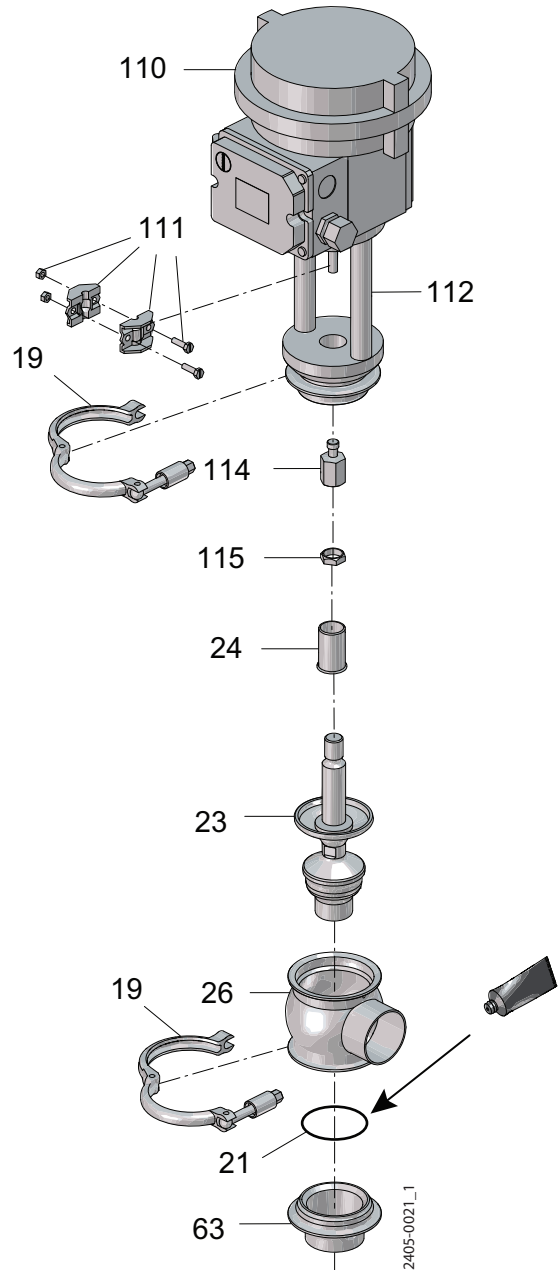
### 3 据付け

本文をよくお読みください。

符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。  
溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

#### アセプティック・モデル

1. O-リング (21) に Klüber Paraliq GTE を塗布します 703。
2. シート (63) と O-リング (21) をバルブ本体 (26) に取り付けます。
3. 下部クランプ (19) を取り付け、締付けてください。
4. プラグ (23) をバルブ本体 (26) に取り付けます。
5. ブッシュ (24) をボンネット (112) に取り付けます。
6. アクチュエーター (110) とボンネット (112) をバルブパーツと一緒にバルブ本体 (26) に取り付けます。
7. 上部クランプ (19) を取り付け、締付けてください。
8. バルブプラグ・アジャスター (114) とナット (115) をプラグ (23) に取り付け、締付けてください。
9. クランプ継手 (111) を取り付け、締付けてください。

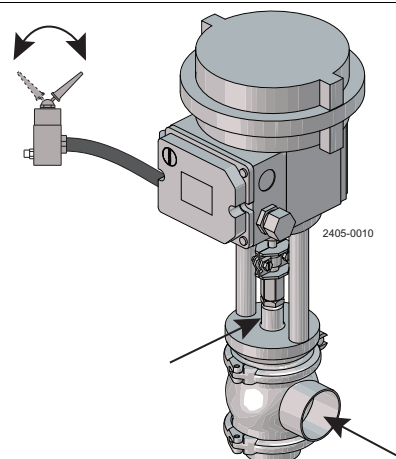


#### ステップ 3

##### 使用前チェック:

1. 圧縮エアを使用して、バルブをアクティブ化します。
2. バルブの開閉を数回行い、円滑に動作する事を確認してください。

警告(人)には特に注意してください。



---

本文をよくお読みください。  
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。  
溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

---

### 3.4 リサイクル情報

---

#### ・開梱

- 梱包材は、木材、プラスチック、段ボール箱、および場合によっては金属ストラップから構成されます。
- 木材と段ボール箱は再利用やリサイクルが可能です。あるいは、エネルギー回収に使用できます。
- プラスチックはリサイクルするか、認可を受けた廃棄物焼却場で焼却する必要があります。
- 金属ストラップは金属リサイクルとして処理する必要があります。

#### ・メンテナンス

- メンテナンス時に、機械内のオイルや磨耗部品を交換します。
- すべての金属部品は金属のリサイクルに送る必要があります。
- 磨耗または故障した電子製品は、認可を受けた金属リサイクル処理業者に送る必要があります。
- オイルおよび金属以外の磨耗部品は、地域の法規制に従って処分しなければなりません。

#### ・廃棄

- 使用を終えた機器は、地域の関連する法規制に従ってリサイクルする必要があります。機器以外に、プロセス液体からの有害残留物についても、適切に考慮し、処理しなければなりません。ご不明な点がある場合や、地域の法規制がない場合は、お近くの Alfa Laval 販売会社にお問い合わせください。
-

## 4 動作概要

本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
バルブが円滑に動作することを確認してください。  
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。

### 4.1 動作概要

#### ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。  
章を参照してください6 テクニカルデータ。

#### 注意

アルファ・ラバル Lavalでは、不適切な操作による不具合には責任を負いかねます。

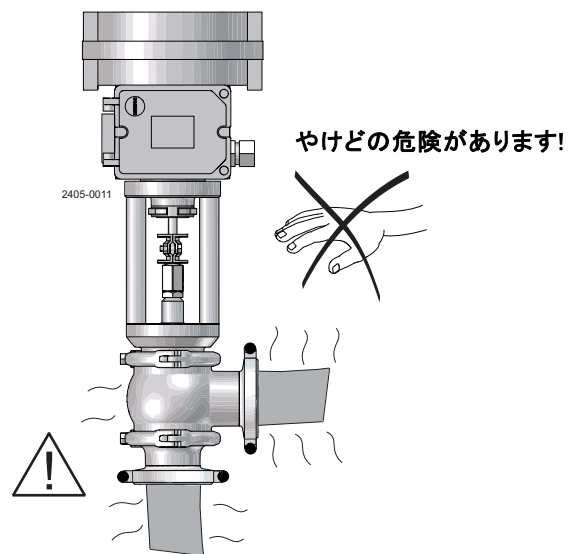


バルブ使用後は、必ず圧縮エアを抜いてください。

#### ステップ 2



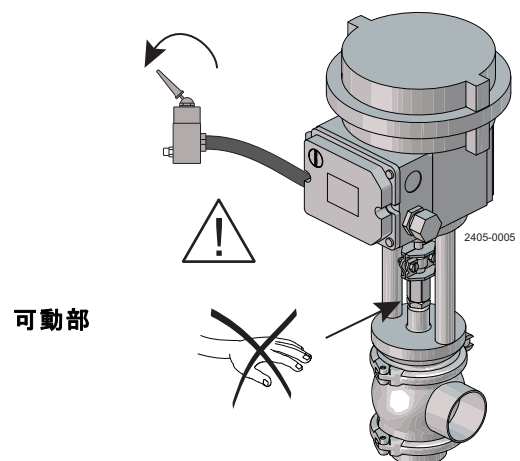
熱い流体を流している最中や殺菌中には、バルブや配管には決して手を触れないでください。



#### ステップ 3



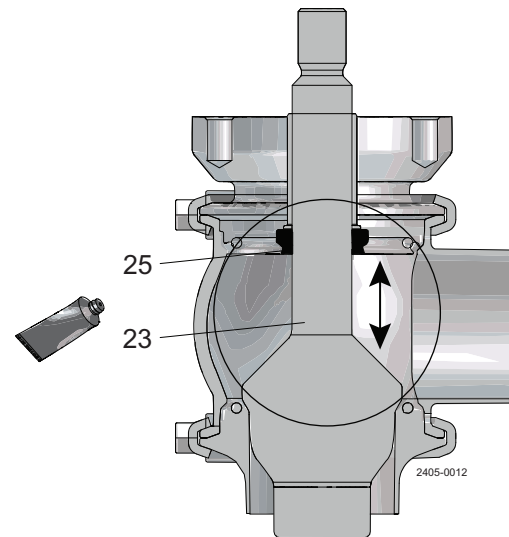
アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は絶対に可動部に手を触れないでください。



本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
バルブが円滑に動作することを確認してください。  
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。

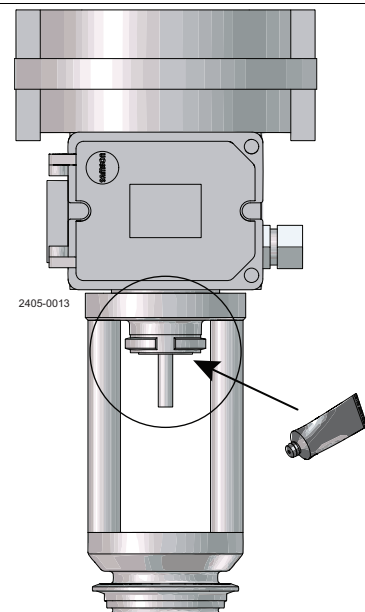
### ステップ 4 バルブの潤滑

- リップ・シール(25)とプラグステム(23)の間が円滑に動作することを確認します。
- 必要に応じて Klüber Paraliq GTE 703 で潤滑します  
(5.1 通常のメンテナンス セクションを参照)。



### ステップ 5 アクチュエータの潤滑

- アクチュエータが円滑に動作することを確認します(アクチュエータは潤滑して納入されます。)
- 必要に応じて Molykote Longterm 2 プラスで潤滑します。



## 4 動作概要

故障の可能性に留意してください。本文をよくお読みください。  
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。

### 4.2 トラブルシューティング

#### ご注意

摩耗により部品を交換する前に、メンテナンス方法を熟読してください。セクション 5.1 通常のメンテナンス を参照してください。

不具合	原因/結果	修理
外部への液漏れ	摩耗または破損したリップ シールおよび/または O-リング	- シールを交換 - シール材質を異なる等級の ゴムに交換する
内部での液漏れ	- 摩耗したり製品の影響を受けたりした プラグシール  - シート、プラグへの 付着物	- シールを交換 - シール材質を異なる等級の ゴムに交換してください  - 洗浄頻度を上げる
ウォーターハンマー	液の流れがバルブの閉じる方向と 同一方向です	- 液の流れをバルブの閉じる方向と 逆方向にする必要があります - トップユニットの電磁弁 の空気の排出を絞る

### 4.3 推奨する洗浄方法

#### ステップ 1



酸やアルカリの取扱いには、**必ず**十分注意を払ってください。

#### 腐食の危険!



**必ず**  
ゴム手袋を使用して  
ください。

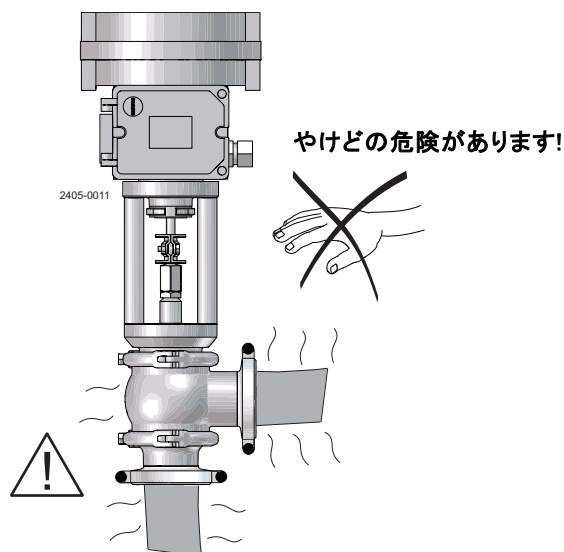


**必ず**  
防護眼鏡を着用し  
てください

#### ステップ 2



殺菌中にバルブや配管に**絶対**に手を触れないでください。

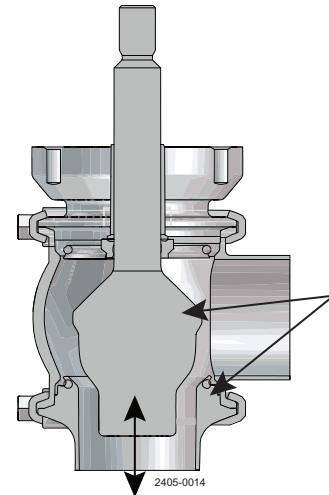




このバルブは、CIP(定置洗浄)対応に設計されています。  
 本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
 NaOH = 苛性ソーダ  
 HNO<sub>3</sub> = 硝酸

### ステップ 3

プラグおよびシートを確実に洗浄してください。  
 警告には特に注意してください  
 バルブを一瞬持ち上げてから下ろしてください。



### ステップ 4

#### 洗浄液の例:

塩素を含まないきれいな水をお使いください。

1. 1% の NaOH、70°C

1 kg の NaOH	+	100 l 水	=	洗浄剤
2.2 l 33% NaOH	+	100 l 淡水	=	洗浄剤

2. 0.5%<sub>3</sub> の HNO<sub>3</sub>、70°C

0.7 l 53% HNO <sub>3</sub>	+	100 l 淡水	=	洗浄剤
-------------------------------	---	-------------	---	-----

### ステップ 5

1. 洗浄液の濃度を調整します。
2. 洗浄流量を調節します。
3. 洗浄後はきれいな水で**必ず**よく水洗いしてください。

#### メモ

洗浄剤は、現行の規制や指示に従って保存・廃棄してください。

**必ずすすぐ！**



きれいな水 洗浄剤

## 5 メンテナンス

バルブのメンテナンスは定期的に行ってください。  
本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。いつもアルファラバル純正な予備部品をご使用願います。

アフターサービスを円滑に進めるための弁をチェックしてください。

### 5.1 通常のメンテナンス

#### ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。  
章を参照6 テクニカルデータ

**注意**  
廃棄物は、必ず現行の規則や指示に従って保存・廃棄してください。



バルブ使用後は、必ず圧縮エアを抜いてください。

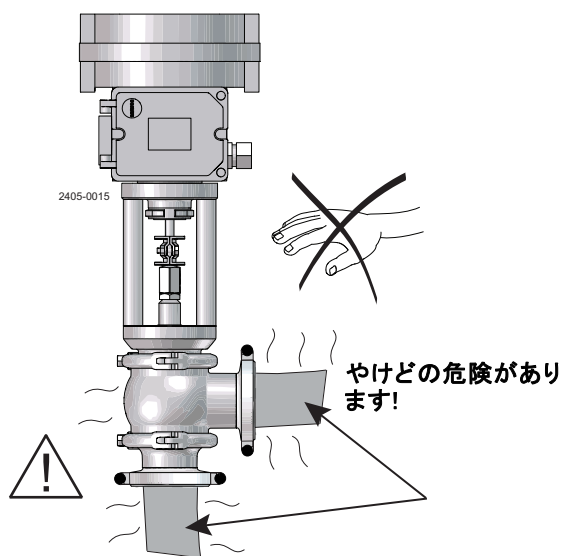
#### ステップ 2



バルブが熱くなっているときには、絶対に作業を行わないでください。



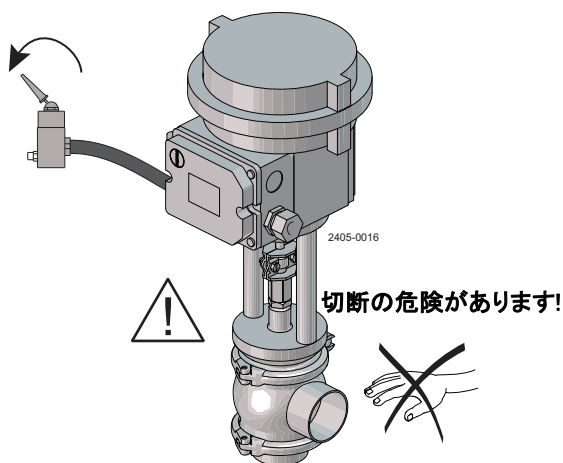
バルブの作業を行う時は、必ず配管/バルブ共に加圧されていないことを確認して下さい。



#### ステップ 3



アクチュエーターに圧縮エアが供給されている場合は絶対にバルブ内に指を入れないでください。

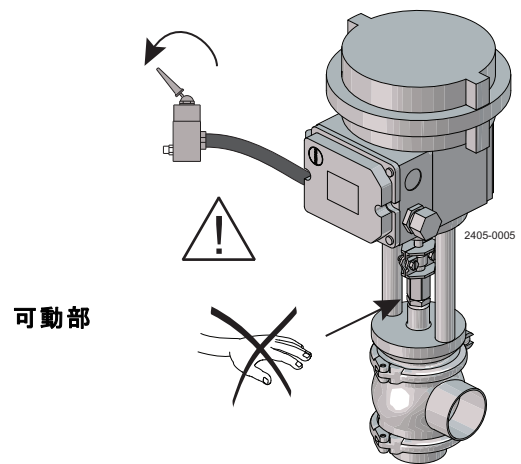


バルブのメンテナンスは定期的に行ってください。  
 本文をよく読み、警告には特に注意してください。  
 ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。いつもアルファラバル純正な予備部品をご使用願います。  
 アフターサービスを円滑に進めるための弁をチェックしてください。

### ステップ 4



アクチュエータに圧縮エアが供給されている場合は**絶対**に可動部品に手を触れないでください。

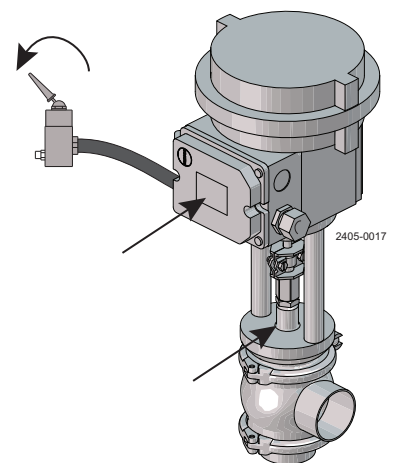


下表は保守および潤滑間隔の目安を示しています。  
 この目安は 1 シフトにおける通常の動作条件に対するものです。

接液シール	
予防メンテナンス	動作条件に応じて12ヶ月で交換
液漏れ後のメンテナンス(通常漏れは徐々に始まります)	1日の終わりに交換する
計画的メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 液漏れや動作のスムーズさを定期的に検査する</li> <li>- バルブの記録を付ける</li> <li>- 検査計画の統計を使用</li> </ul> 液漏れ後に交換
潤滑	据付前に Klüber Paraliq GTE 703 または同等な USDA H1承認のオイル / グリスを使用

### 使用前チェック:

1. 圧縮エアをアクチュエータに供給します。
2. ポジショナーを初期化するには、ポジショナー・プログラム P15 をアクティブ化します。  
**警告に注意してください！**



## 5 メンテナンス

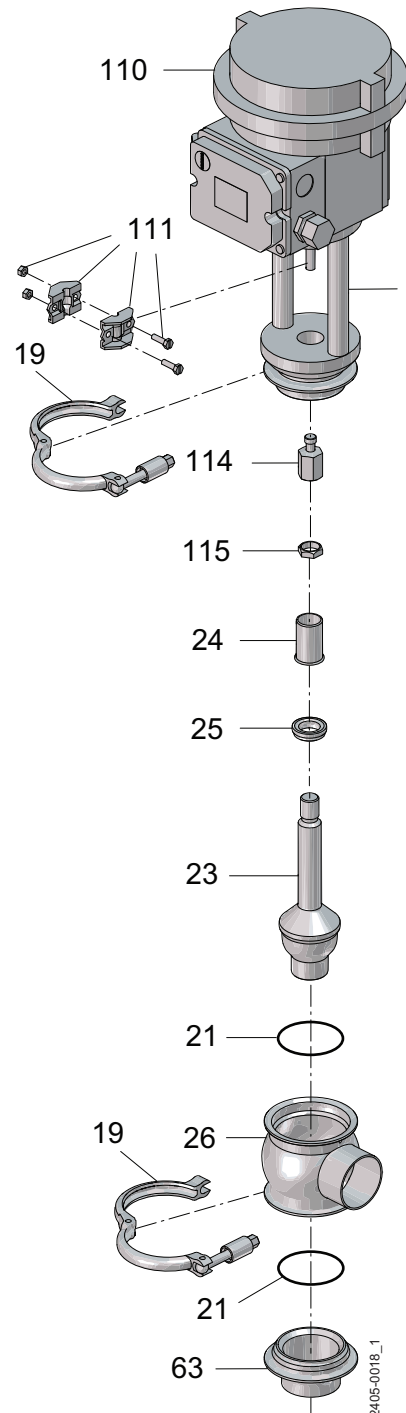
本文をよくお読みください。符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。廃棄物は正しく取り扱ってください。  
NC = 常時閉。  
NO = 常時開。

### 5.2 バルブの分解

#### ステップ 1

##### 標準モデル

1. 上部クランプ (19) を緩めて取り外してください。
2. クランプ継手 (111) を緩めて取り外してください。
3. バルブプラグ・アジャスター (114) とナット (115) を緩めて取り外してください。
4. アクチュエータ (110) とボンネット (112) を取り外します。
5. バルブプラグ (23) を取り外してください。
6. 下部クランプ (19) を緩めて取り外してください。
7. O-リング (21)、リップシール (25)、プッシュ (24) を取り外します。
8. シート (63) と O-リング (21) をバルブ本体 (26) から取り外します。



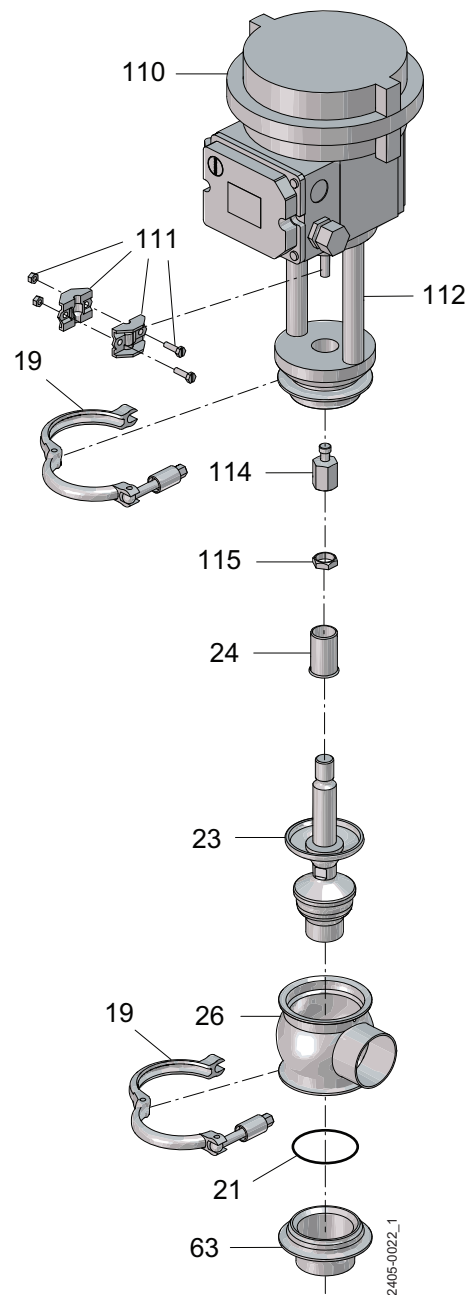
本文をよくお読みください。符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。廃棄物は正しく取り扱ってください。

NC = 常時閉。

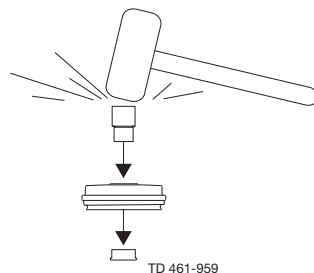
NO = 常時開。

### アセプティック・モデル

1. 上部クランプ (19) を緩めて取り外してください。
2. クランプ継手 (111) を緩めて取り外してください。
3. バルブプラグ・アジャスター (114) とナット (115) を緩めて取り外してください。
4. アクチュエータ (110) とボンネット (112) を取り外します。
5. バルブプラグ (23) を取り外してください。
6. 下部クランプ (19) を緩めて取り外してください。
7. プッシュ (24) を取り外します。
8. シート (63) と O-リング (21) をバルブ本体 (26) から取り外します。



警告(人)には特に注意してください。



TD 461-959

### 注意

プッシュを損傷しないように注意してください。

## 5 メンテナンス

---

本文をよくお読みください。符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。廃棄物は正しく取り扱ってください。

NC = 常時閉。

NO = 常時開。

---

### 5.3 プラグシールの交換

---

1. ナイフやドライバなどを使って古いシールリングを取り外してください。  
金属部分を損傷しないように注意してください。
  2. プラグシールを溝に押し込むことなく仮取り付けしてください。
  3. 向かい合わせ圧力点を押し、プラグシールを溝に押し込んでください。
  4. プラグシールの背後から圧縮エアを抜いてください。
- 注意** プラグシールの交換については、サービスキットの指示を参照してください。
- 

### 5.4 バルブアセンブリ

---

5.2 バルブの分解 の順序を逆にします。

Klüber Paraliq GTE 703 を O-リング (21) とリップシール (25) に塗布して潤滑化します。

スピンドルとプラグはトルク 30Nm で締め付けるようにしてください (17mm スパナ 2 本を使用)。

配管内に振動が生じる場合、アルファラバルではロックタイト No. 243 の使用を推奨します。

---

据付、操作、メンテナンスに際して、テクニカルデータを遵守する必要があります。  
テクニカルデータを担当者全員にご通知ください

## 6.1 テクニカルデータ

### 動作のしくみ (基本動作)

電気信号および圧縮エアによって遠隔操作されます。アクチュエータの重要な部分を占める IP コンバータは、電気信号をエア圧信号に変換します。この信号変換は圧力ショックに対しては全く影響を受けません。エア圧信号は力平衡原則で作動する統合ポジションナへ伝送され、アクチュエータ・ピストンの位置が入力信号に正比例するようにします。

### バルブ

データ	
製品液最大圧力	1000 kPa (10 bar)
使用最小圧力	真空
温度範囲	-10° C ~ +140° C (EPDM)
流量範囲 Kv での流量	0.5 ~ 110 m <sup>3</sup> /h/bar
材質	
接液金属部品	AISI 316L
他金属部品	AISI 304
リップ・シール	EPDM (標準)
仕上げ	半光沢

### アクチュエータ

エア・データ	
接続部	6/4 mm エア・チューブ
最大空気圧	700 kPa (7 bar)
動作圧力	400 kPa (4 bar)
最大粒子サイズ	0.01 mm
油分最大含有量	0.08 ppm
露点	10° C (環境温度) 以下
水分最大含有量	7.5 g/kg
変換器/コンベクタ	
信号の範囲	4-20 mA (標準)
入力抵抗	200 W
導電性/静電容量	ほぼ無し
精度	
実流量の	≤1.5%
ヒステリシス	≤0.5%
感度	< 0.1%
エア供給の影響	≤0.1% 1.間4 および 6 bar
データ	
保護クラス	IP66
周囲温度	-20° C ~ +80° C
材質	
ハウジング	アルミニウムおよびプラスチック・コーティング
ダイヤフラム	NBR強化繊維挿入
スプリング	塗装なしステンレススチール/スプリングスチール・エポキシ樹脂コーティング
ステム	ステンレス鋼
樹脂部品	ポリカーボネート/ポリアミド 6.6
ネジ、ナット	ステンレススチール、ポリアミド 6.6
その他の部品	ステンレススチールおよびアルミニウム

## 6 テクニカルデータ

---

据付、操作、メンテナンスに際して、テクニカルデータを遵守する必要があります。  
テクニカルデータを担当者全員にご通知ください

---

### 重量

サイズ	38 mm/1½"	51 mm/2"	63.5 mm/2½"	76.1 mm/3"	101.6 mm/4" NO	101.6 mm/4" NC
kg	8.2	9.3	9.7	11.2	15.4	24.9

### ノイズ

排出口から 1 m の距離、1.6 m 上の位置において、バルブアクチュエーターのノイズはノイズダンパーなしの場合はおよそ 77db (A)、ダンパー付きの場合はおよそ 72 db (A) です。エア圧 7 bar にて測定。

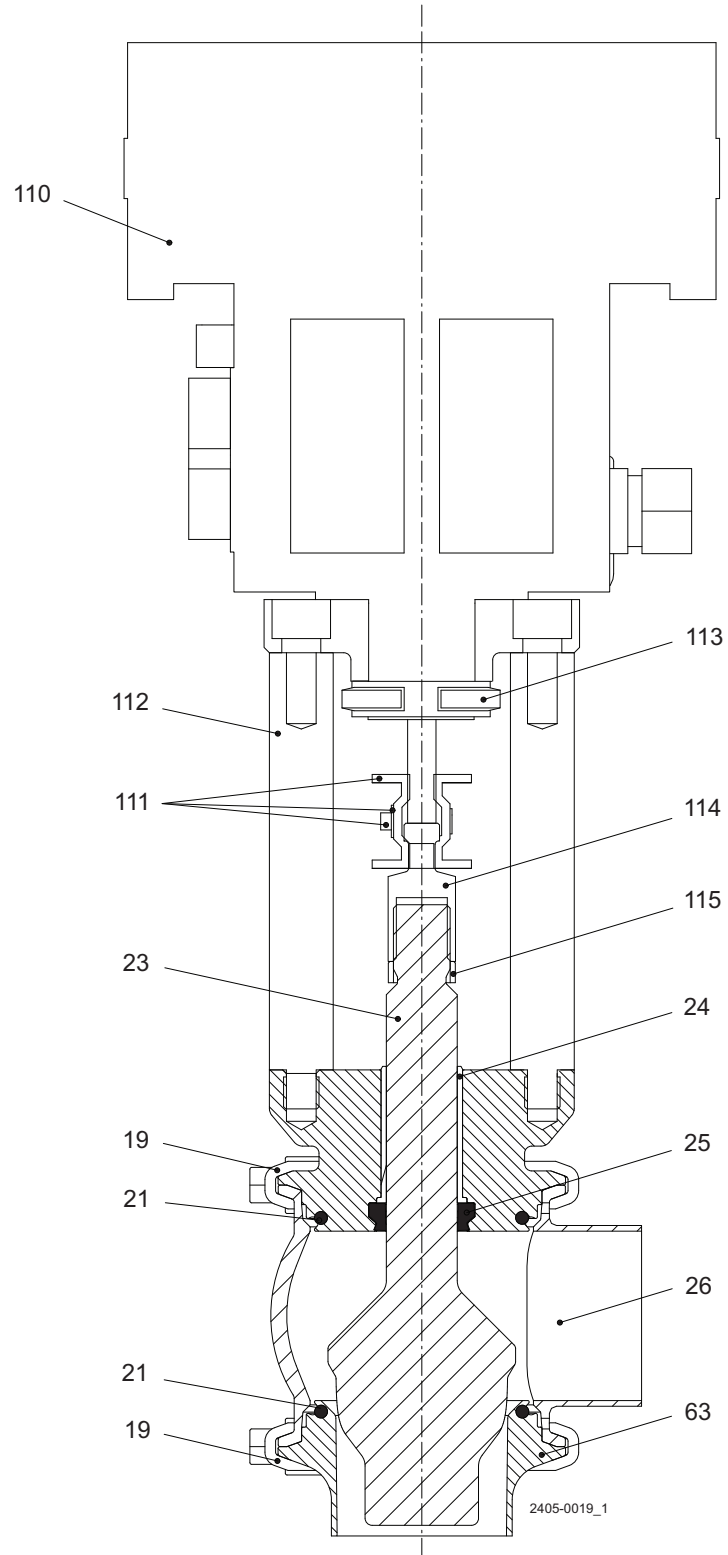
---



## 7 部品リストとサービスキット

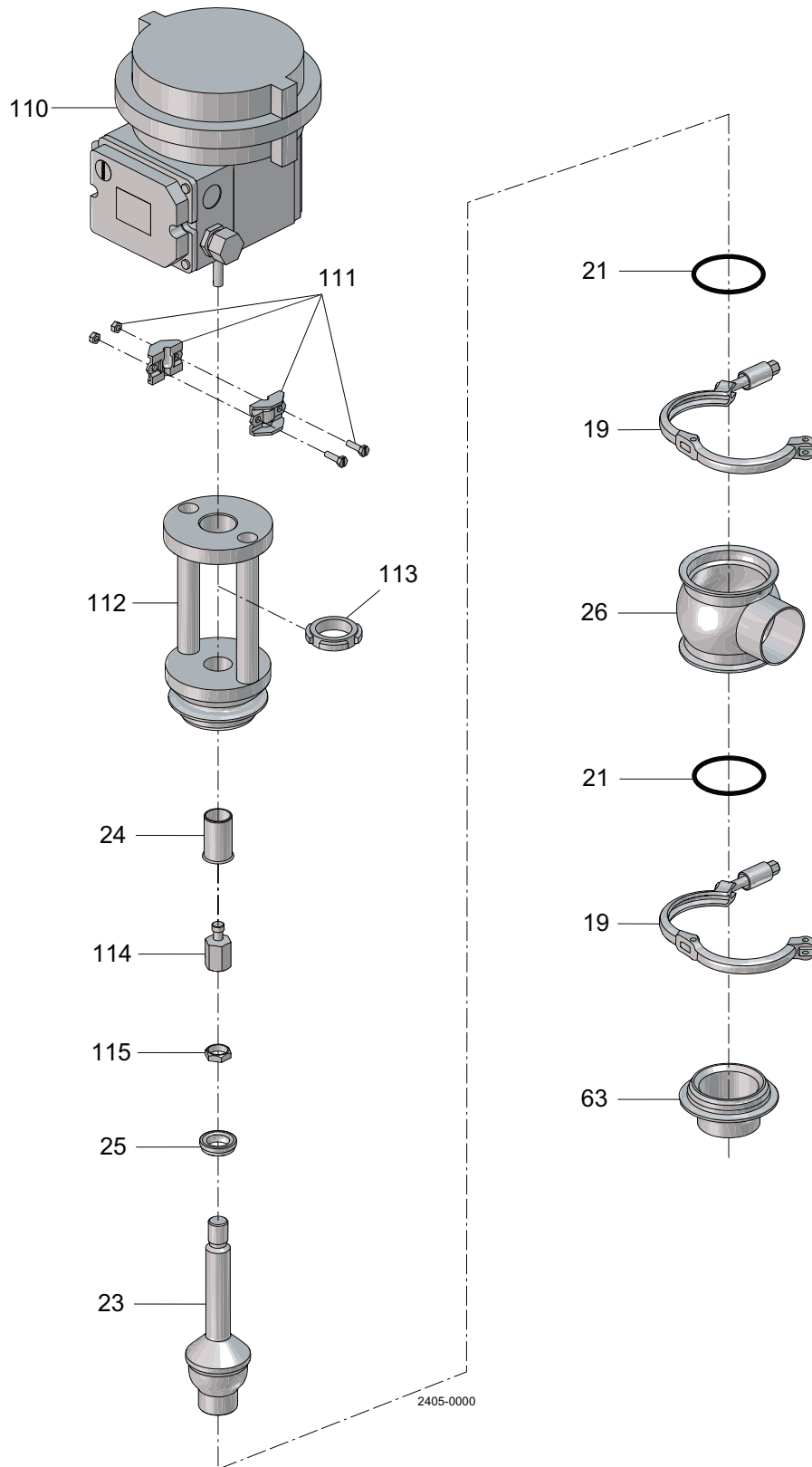
いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。

### 7.1 標準モデル



## 7 部品リストとサービスキット

いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。



## 7 部品リストとサービスキット

いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。

### パーツリスト

符号	数量	部品名称
19	2	クランプ
21 *	2	Oリング
23	1	プラグ
24	1	ブッシュ
25 *	1	リップ・シール
26	1	バルブボディ
63	1	シート
110	1	アクチュエータ、全体
111	1	クランプ継手
112	1	ボンネット、完了
113	1	ナットを叩く
114	1	バルブプラグ・アジャスタ
115	1	ナット

### サービス・キット

部品名称	38mm DN40	51mm DN50	63.5 mm DN65	76.1 mm DN80	101.6 mm DN100
* サービスキット、EPDM .....	9611926975	9611926976	9611926977	9611926978	9611926979
* サービスキット、HNBR .....	9611926980	9611926981	9611926982	9611926983	9611926984
* サービスキット、FPM .....	9611926985	9611926986	9611926987	9611926988	9611926989

「\*」印の付いた部品はサービスキットに含まれています。

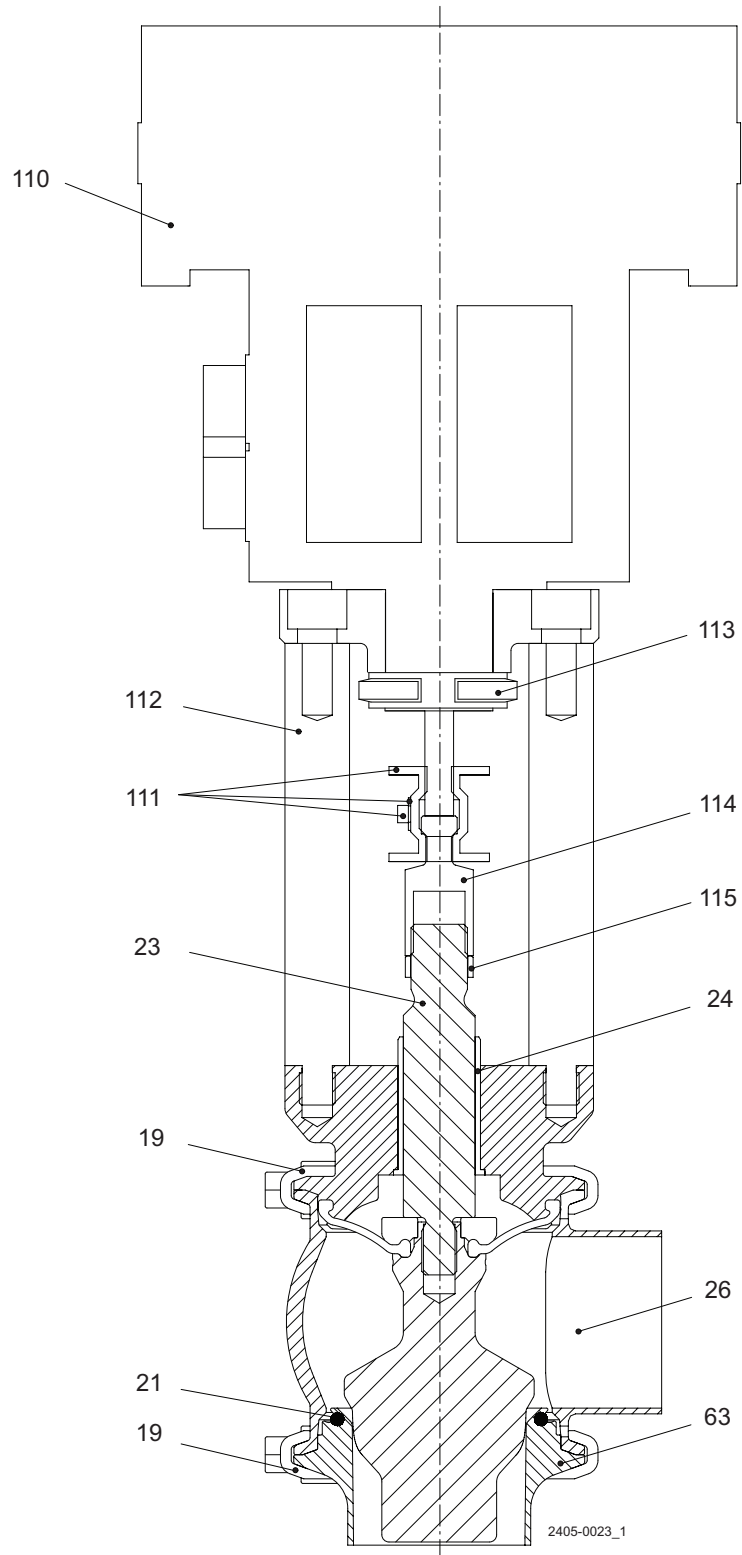
推奨予備部品: サービス・キット

900679/2

## 7 部品リストとサービスキット

いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。

### 7.2 アセプティック・モデル



## 7 部品リストとサービスキット

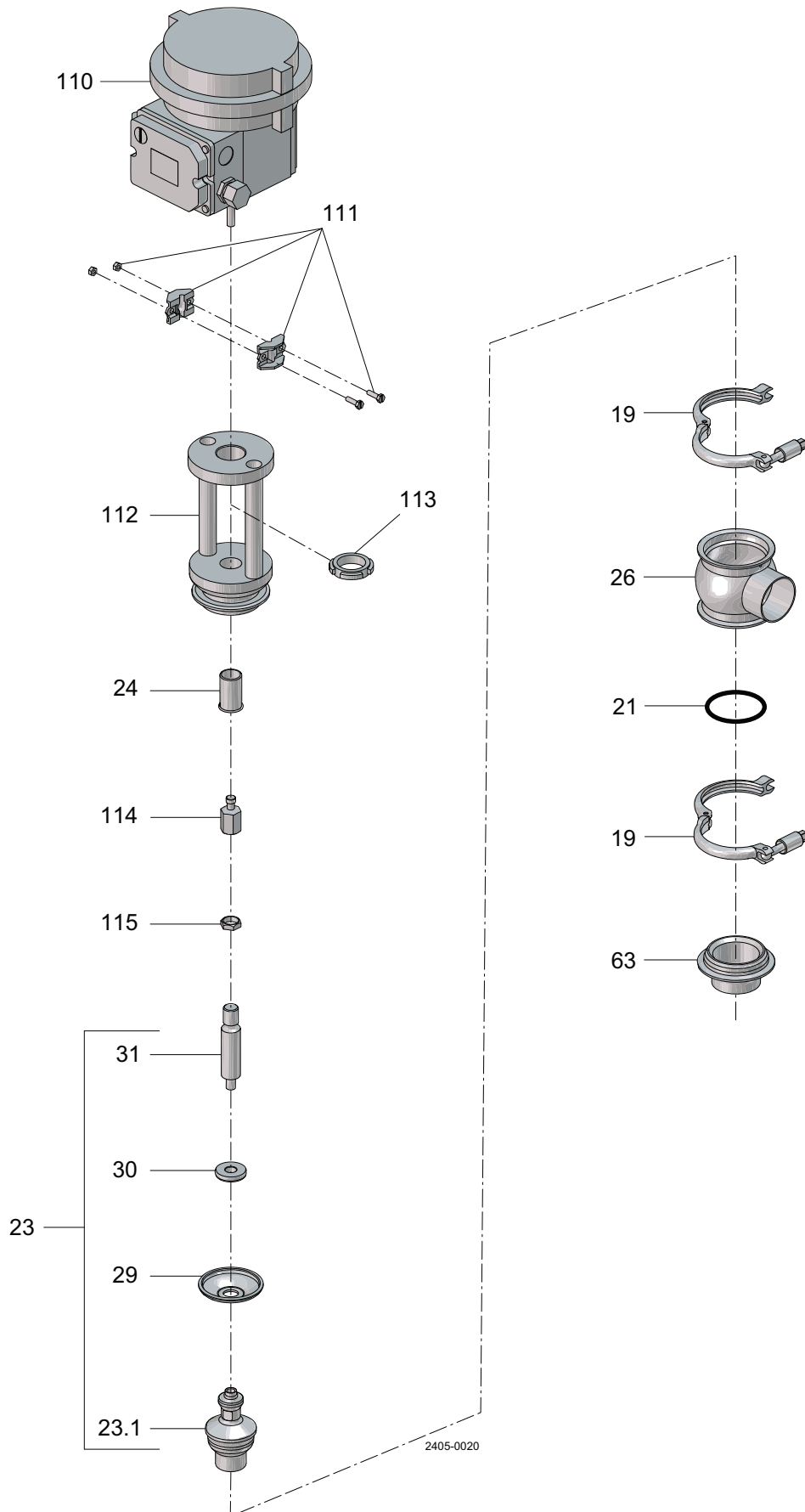
---

いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。

---

## 7 部品リストとサービスキット

いつもアルファラベル純正な予備部品をご使用願います。アルファラベルの製品保証はアルファラベル純正予備部品の使用による成立するものです。



## 7 部品リストとサービスキット

いつもアルファラバル純正な予備部品をご使用願います。アルファラバルの製品保証はアルファラバル純正予備部品の使用による成立するものです。

### パーツリスト

符号	数量	部品名称
19	2	クランプ
21 *	1	Oリング
23	1	プラグ、一式
23.1	1	プラグ
26	1	バルブボディ
29 *	1	ダイヤフラム
30	1	ディスク
31	1	上側スピンドル
63	1	シート
110	1	アクチュエータ、全体
111	1	クランプ継手
112	1	ボンネット、完了
113	1	ナットを叩く
114	1	バルブプラグ・アジャスタ
115	1	ナット

### サービス・キット

部品名称	38mm DN40	51mm DN50	63.5 mm DN65	76.1 mm DN80	101.6 mm DN100
* サービスキット、EPDM .....	9611929001	9611929004	9611929007	9611929010	9611929013
* サービスキット、HNBR .....	9611929002	9611929005	9611929008	9611929011	9611929014
* サービスキット、FPM .....	9611929003	9611929006	9611929009	9611929012	9611929015

#### **アルファ・ラバルの問い合わせ先**

各国の弊社代理店の最新情報は、ホームページをご確認ください。

© Alfa Laval Corporate AB

本文書および本文書の内容はAlfa Laval Corporate ABが所有し、知的所有権およびそれに関連する権利を管理する法律によって保護されています。本文書のユーザーは、適用される知的所有権関連法に準拠する責任を負います。本文書に関連するすべての権利を制限することなく、本文書のいかなる文書も、Alfa Laval Corporate ABから文書による許諾を得ることなく、いかなる形式またはいかなる手段（電子、機械的、複写、録画その他）、いかなる目的によっても無断で、コピー、複製または転送してはなりません。Alfa Laval Corporate ABは法の許す限り、刑事告発を含めた、本文書に関する権利を行使します。